

ケーブルテレビ  
のデータ放送  
講座 ③

# データ放送とネットコンテンツの連携

(株)メディアキャスト 代表取締役 杉本 孝浩

データ放送は放送と通信を融合させるメディアとしてお茶の間のテレビへタイムリーに情報を配信できる点が最大のメリットである。しかしどんな情報をどのようにして配信すればよいのであろうか？ 今までの自主放送でのテロップを含む各種情報や、ホームページ上で配信している情報以外に、データ放送用に特別に情報を集めるのはコスト的にもかなり厳しいことである。今回は、データ放送サービスで配信する情報や、その手段を例を挙げて紹介することとする。

## ■ データ放送の情報コンテンツ例

- データ放送で配信する情報例として主に下記が挙げられる。
- くらしの情報（イベント、気象、交通、時刻表、お悔やみ、夜間休日当番医、ゴミカレンダー、回覧板、他）
- 消防警察関連（防災、避難場所、災害状況、河川氾濫、他）
- 行政情報（自治体からのお知らせ、役所案内、各種手続き、他）
- 公共サービス情報（施設案内、施設予約、図書館案内、他）
- 地域店舗情報（店舗紹介、イベント、安売セール、クーポン、出前、広告、他）
- 娯楽系情報（ゲーム、プレゼント、イベント、メール、他）

行政情報例



鉄道運行情報例



これらは、すでにテロップ入力などを使いアナログ自主放送で実現しているテレビコンテンツもあれば、大部分がホームページ

上で配信しているネットコンテンツである。つまりデータ放送では、従来からテレビで配信していた情報はもちろんのこと、ネットワークコンテンツも含めてお茶の間のテレビに配信することになるのである。最近ではホームページ上で、上記のような地域情報を配信しているケーブル事業者も多くなってきた。ということは、データ放送専用のコンテンツに限っては専用システムから入力し、ネットコンテンツに関しては既存のホームページと連携することが一番の近道である。

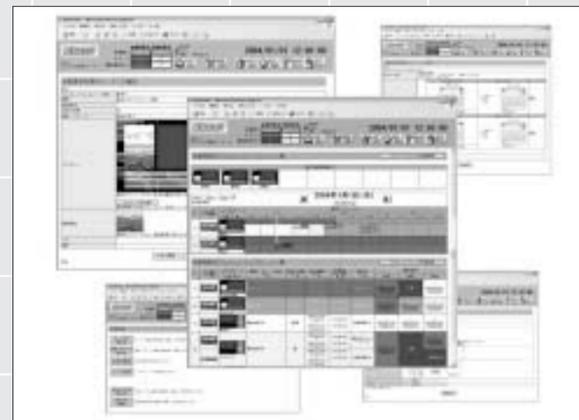
ネットコンテンツ連携システム



## ■ データ放送専用情報コンテンツ

先々月号の講座では、データ放送運用には、あらかじめ作成しておいたBML画面コンテンツにテキスト情報と画像情報だけを更新するデータ放送コンテンツ更新システムが必要で、そのコンテンツ更新システムは自動入力系と手動入力系があることを紹

コンテンツ更新システム



介した。手動入力系では、緊急情報はもちろんのこと、本日のトピックスなどデータ放送特有の情報を、特別な技術習得も必要なく、Internet Explorerを使ってテロップ感覚で誰でも入力することができる。自動入力系は、外部システムからの情報（CSVやJPEGなど）を自動的に取り込み、後はコンテンツ更新システムが手動入力系と一緒にデータ放送用データフォーマット（ARIBフォーマット）へ変換し、画面プレビューによる確認と承認、そして送出装置へ送り出してくれる。つまりデータ放送用の情報コンテンツに関しては、テレビへの配信という観点からARIBフォーマットへの変換機能とBMLテンプレートおよび管理、画面プレビュー、送出承認機能、そしてARIB規格に準じた送出装置とのインターフェイス機能を搭載したデータ放送コンテンツ更新システムが必須である。

## ■ ネット連携情報コンテンツ

通常、ホームページ上に掲載している情報コンテンツの更新には何らかのXML技術を駆使したCMSシステムやデータベースシステムが稼働している場合が多い。また最近ではRSSという技術も出現し、更新された情報だけを配信させることも容易になってきた。このようなシステムは多数の会社から製品として販売されており、それらCMSシステムやデータベースシステム、またはRSS技術を使用して、ホームページ用とは別にデータ放送用にテキスト情報（CSV）や画像情報（JPEGなど）を、前述のデータ放送コンテンツ更新システムへ自動入力系情報コンテンツとして出力することにより、データ放送でネット情報コンテンツの活用または連携が可能となる。

ネットコンテンツと連携が可能なシステムを構築することにより、一つの入力作業でホームページや携帯サイト、そしてデータ放送へ情報コンテンツとして配信することが可能となる訳である。これは少数のスタッフで運営しているケーブル事業者にとっては重要なことであろう。また各種自治体サイトや災害サイトと連携する場合においてもその効果は大きいといえる。

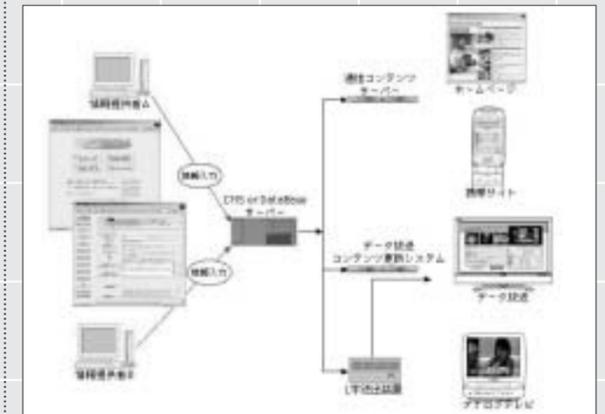
## ■ 情報提供者による情報入力

ネット連携情報コンテンツをさらに応用することにより、外部の情報提供者による情報入力も可能となってくる。

冒頭の情報コンテンツ例の店舗紹介や自治体情報に関しては、店舗のオーナーや自治体担当者自身がインターネットを介して、簡単なウェブ操作でCMSシステムデータベースシステムへアクセスし、情報を入力するものである。入力操作は入力テンプレートに従いテキストを入力し、必要に応じてデジカメ等で撮影した画像を添付入力し、それらの情報はCMSシステムデータベースシステム経由でホームページや携帯電話サイト、そしてデータ放送へ配信される訳である。

外部情報提供者が入力するCMSシステムデータベースシステムも、多数の会社から製品として販売されており、これらシステムを使用することにより、正確な情報を瞬時に配信することが可

CMSシステム構成例



能となり、さらなる人的コストの削減や、広告収入という新たなビジネス展開への可能性が高まる。

## ■ 終わりに

3回にわたり、データ放送に関するさまざまなことを紹介してきたが、まだまだ誌面では伝えきれないことが多く、今回の紹介説明では足りない部分や不明な点も多くあったかと思う。しかし少しでも今後のケーブルテレビでのデータ放送の普及に役立てればと思ひ執筆させていただいた次第でありお許し願いたい。

6月14日～16日に東京ビッグサイトにて開催された「ケーブルテレビ2006」では、データ放送に関する多数の展示が見られ、特に知多メディアネットワーク株式会社と株式会社嶺南ケーブルネットワークでは、すでにサービス開始の準備が整っている状態である。来年には、さらに多くのケーブル事業者がデータ放送サービスを展開することを期待する。

知多メディアネットワークのトップ画面



嶺南ケーブルネットワークのトップ画面



**「ケーブル新時代」編集部宛にご返信ください。**

〒150-0047 東京都渋谷区神山町5-20 TEL 03-5478-0704

FAX : 03-5478-8253

**「ケーブル新時代」購読申込書**

\* **請求先**(いずれかに をつけてください) ・**個人** ・**法人**

フリガナ	
氏名または社名	
フリガナ	
部署名 担当者	
フリガナ	
送付先住所	〒
TEL	( )
FAX	( )
資本金	万円(法人のみご記入ください)
購読方法	* 最新号は、2006年8・9月合併号(7月25日発行) ・ ( )月号から年間購読 ・ ( )月号のみ
申込み冊数	冊
お支払い締め日	日締め 日払い

請求先が上記社名、ご氏名と異なる場合、ご記入ください。

請求先名称	
請求先住所	

(購読料金) **年間購読(2007年3月号まで) 540円×冊数** (送料・税込) 10%割引

定 価 600円/ 1冊 (送料・税込)

複数冊ご購入の割引について  
 ・ 5～9冊 = 20%引き 例) 5冊 = 600円 × 50冊(年間) × 80% = 24,000円  
 ・ 10冊以上 = 30%引き

\* 毎月25日発行 / 年間10回 (7月・12月発行は合併号になります)

\* 年間購読の場合、1冊送付後に請求書を送らせていただきます。

新規でご購入の方のみお答えください。

ケーブル新時代をどこでお知りになりましたか？

1.CATV局で聞いた 2.ホームページで見た 3.その他( )

お客様の個人情報につきましては、本誌および本誌改善のためのアンケート発送や購読管理など以外に利用する事は  
ありません。また、当社との間で秘密保持契約を締結している業務委託企業(発送業務)などに必要最低限で開示する  
場合以外は、如何なる第三者にも開示することはありません。

ご提供頂いた個人情報については、弊社個人情報管理者の責任のもとで紛失、漏洩、改ざんを防止するため厳重な  
セキュリティを講じます。

お客様から個人情報の開示、訂正、変更、削除の要請があった場合、個人情報提供者ご本人であることを確認した後、  
登録情報を開示、訂正、変更、削除します。